

陸軍三廠の一つ宇品陸軍糧秣支廠 郷土資料館 被爆建物案内



旧宇品陸軍糧秣支廠(現 広島市郷土資料館)

令和7年(2025) **8月6日(水)** 9時～16時30分

申込不要
随時受付

●被爆建物である **糧秣支廠** の建物について解説します。(場所:玄関ホール)

●お好み焼きのヒントとなった、戦前・戦後の子どもものの駄菓子 **「一銭洋食」** の調理・試食、戦中戦後の代用食 **「江波団子」** の試食を行います。

※ **「一銭洋食」** **「江波団子」** 試食は10時～15時30分、材料がなくなり次第終了します。(場所:講堂)

●戦時中の茶の間と台所の再現展示をします。(場所:常設展示室)

●昭和7年(1932)の第1次上海事変に際し、宇品港(現広島港)から出兵した記録映像を上映します。(場所:講堂)



糧秣支廠缶詰工場 箱詰め作業(当館蔵)



爆風で折れ曲がった屋根の鉄骨を見上げる



看板娘

“れんガール”

宇品陸軍糧秣支廠は、明治44年(1911)に建てられた陸軍の建物です。兵士の食糧、軍馬のエサを調達・製造し、軍隊に補給するのが糧秣支廠の役割で、ここでは、牛肉の大和煮缶詰を製造していました。

昭和20年(1945)8月6日、爆心地から3.2kmにあったこの建物は、原子爆弾による爆風のため、北側屋根の鉄骨が折れ曲がるなどの被害を受けましたが、建物自体の倒壊はまぬがれました。

その後、一部分が修復・保存され、昭和60年(1985)4月、広島市重要有形文化財に指定、翌5月に広島市郷土資料館として開館しました。

入館料／大人100円(団体80円)
シニア※1・高校生※2 50円(団体30円)
中学生以下無料

※1 65歳以上の人(公的な証明書を提示ください)

※2 高校生、及び15歳に達する日の翌日から18歳に達する日以後の最初の3/31までの間にある人
団体は30名以上



SNS (Facebook、Instagram、X、LINE) はこちら

アカウント名は hiroshimakado、LINE は広島市郷土資料館

〒734-0015 広島市南区宇品御幸二丁目6-20
tel(082)253-6771 fax(082)253-6772
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/kyodo/>

広島市郷土資料館
HIROSHIMA CITY MUSEUM OF HISTORY AND TRADITIONAL CRAFTS

